

都市再生整備計画 事後評価シート
塩竈市中心市街地活性化推進地区(Ⅱ)

令和3年3月

宮城県 塩竈市

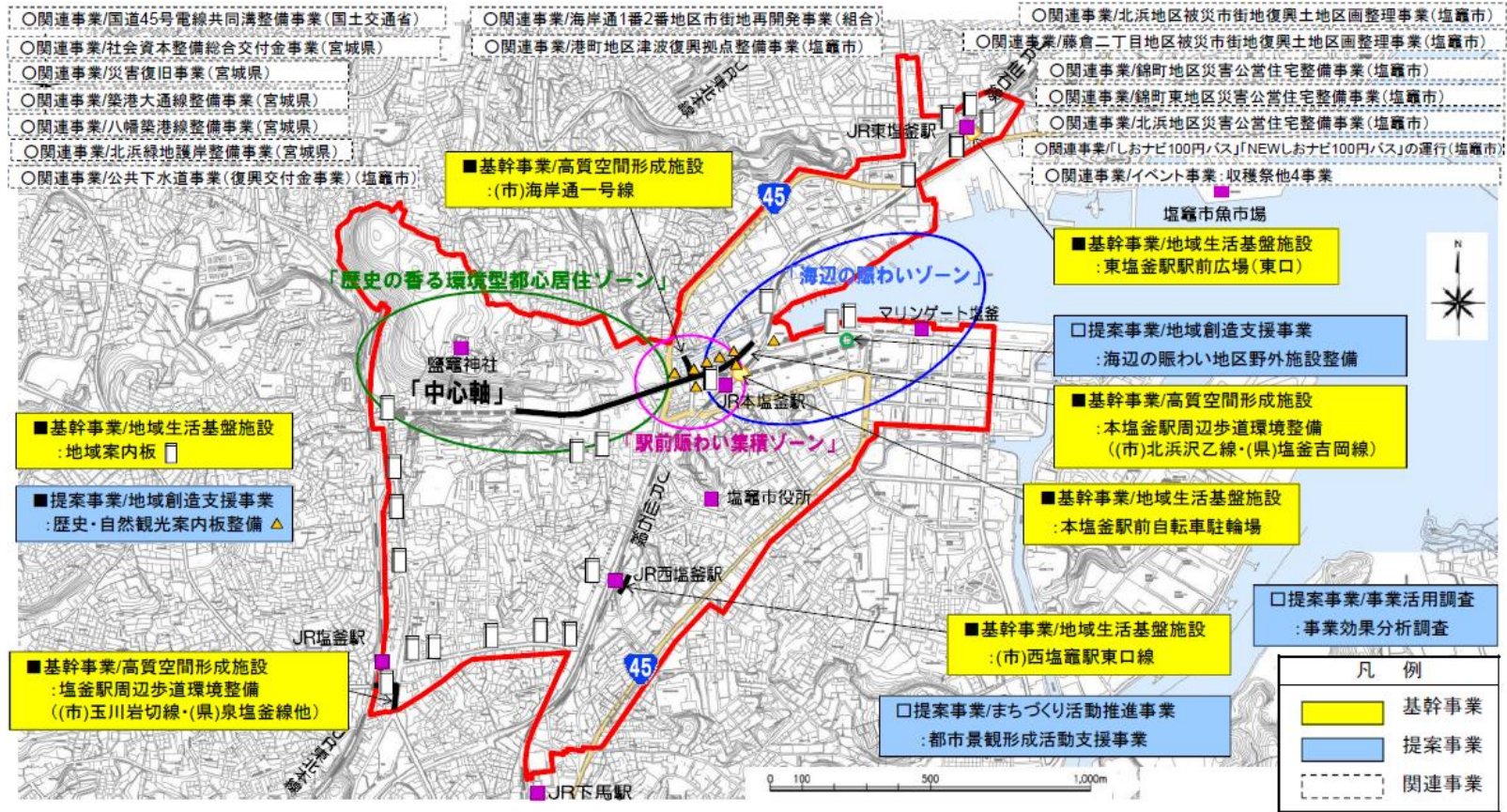
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県		市町村名	塩竈市		地区名	塩竈市中心市街地活性化推進地区(Ⅱ)			面積	226ha		
交付期間	平成27年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	281.94百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(本塩釜駅自転車駐輪場 本塩釜駅、地域案内板 市道 北浜沢乙線、県道 塩釜吉岡線、地域案内板 県道 泉塩釜線、地域案内板 東塩釜駅前広場、地域案内板 その他路線、西塩竈交通広場 市道 西塩釜駅東口線、東塩釜駅東口駅前広場 東塩釜駅東口駅前広場)、高質空間形成施設(市道 海岸通一号線、本塩釜駅周辺歩道環境整備 市道 北浜沢乙線、県道 塩釜吉岡線、塩釜駅周辺歩道環境整備 市道 玉川岩切線、県道 泉塩釜線他)										
		提案事業	地域創造支援事業(海辺の賑わい地区野外施設整備 海辺の賑わい地区)、地域創造支援事業(歴史・自然観光案内板整備事業 歴史・自然観光案内板8基)、事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(都市景観形成活動支援事業 中心市街地内)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名									削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
		提案事業											
新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(本塩釜駅前広場 本塩釜駅神社参道口)				市民および来訪者の回遊性強化を図りながら賑わいの更なる創出を図るため。			本事業の追加により各指標値の数値目標を達成する効果を発現する要因となる。				
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		駅周辺整備工事完了の遅れにより交付期間が延長となったが、事業内容を大幅に変更したものではなく、指標・数値への影響はないと判断した。							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行者交通量	人/12h	10,326	H26	11,500	H31	13,807	15,381	○	あり	駅周辺の整備により、駅周辺地区の回遊性が向上し、また、歩行者にとって安全・安心に通行できる歩道等が確保されたことから、歩行者交通量が大幅に増加した。 なお、調査時点で整備が完了していない事業があったが、当該指標の全体に与える影響は少ないと考えられるため、確定値とする。	
	指標2	駅周辺の満足度	%	74.7	H26	79.0	H31	75.5	77.7	△	あり	令和2年度に全ての駅周辺整備が完了し、整備完了後に、従前と同様のアンケート調査(市民を対象とした郵送によるアンケート調査)を実施し、市民の駅周辺の満足度を把握した。地域交流拠点となる各駅の駅周辺の安全で快適な歩行環境整備等を行ったことにより、駅周辺の満足度が向上した。満足度は、従前値(74.2)→モニタリング(75.5)→今回(77.7)と確実に改善しているものの、駅周辺の駐停車スペースの不足、見栄えがしない・活気がないなどの意見があり、わずかに目標達成に至らなかった。	
	指標3	景観整備に対する満足度	%	52.0	H26	70.0	H31	95.3	74.9	○	あり	従前と同様の方式により、市外観光来訪者を対象にヒアリングを実施した。駅周辺や主要観光地点の地域基盤施設整備、高質空間形成、観光案内板の整備等により、良好な景観が形成され、まちの雰囲気向上した。 なお、調査時点で整備が完了していない事業があったが、当該指標の全体に与える影響は少ないと考えられるため、確定値とする。	
	指標4										あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	都市再生整備計画の計画管理として、事業成果についての評価や事業の進め方の改善等を確認するための中間モニタリングを実施した。(平成29年10月)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も庁内検討組織において継続して効果を確認する。なお、フォローアップ調査を令和2年度に実施する予定である。					
	住民参加プロセス	モニタリングの中で市民意見を聴取し、その後の計画事業に反映した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 本事後評価シート等を市のホームページで公開し、市民からメール等で意見の徴集を行うこととする。					
	持続的なまちづくり体制の構築	市民団体の代表者によりまちづくり懇談会を組織して、本地区を含めた本市全体のまちづくりについて検討した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も庁内検討組織および市民団体との懇談会を存続させ、市民協働のまちづくりを目指すものとする。					

様式2-2 地区の概要

塩竈市中心市街地活性化推進地区(Ⅱ)

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
将来ビジョン:海・港と歴史を活かすまち 塩竈 大目標:都市景観の高質化による3ゾーンの魅力向上、地域交流拠点強化、ネットワーク構築、およびゾーン縁辺部の暮らしやすい住環境の形成 ①拠点機能の強化と景観形成によるまちのイメージアップ ②回遊性の向上と活性化支援 ③安全で安心して暮らせる快適な住環境の形成	歩行者交通量	単位: 人/12h	10,326 H26	11,500 H31	15,381 R1
	駅周辺の満足度	単位: %	74.7 H26	79.0 H31	77.7 R2
	景観整備に対する満足度	単位: %	52.0 H26	70.0 H31	74.9 R1



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流拠点となっている駅周辺の歩行環境等が改善し、地域交流拠点機能の拡大強化が図られた。 ・質の高い歩道環境確保やわかりやすい案内機能の充実が図られ、地域交流拠点や(歴史)観光資源等との回遊性やネットワークが強化された。 ・利便性の高い歩道や案内機能充実による安全性の向上が図られ、快適な住環境確保につながった。 ・令和2年度に実施した駅周辺の満足度等を確認するためのアンケート調査において、駅周辺の駐車スペースの不足、見栄えがしない・活気がないなどの意見が見られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場を含む駅周辺道路の適切な維持管理を推進し、円滑な交通処理や歩行者空間の維持に努め、良好な歩行環境の維持に努める。 ・駅前広場、歴史・自然観光案内板等の適切な維持管理を推進し、良好な景観の維持に努める。また、周辺施設整備の際には、「塩竈市景観計画」に基づく適切な誘導により、さらなる良好な景観づくりに取り組む。 ・駅前広場、地域案内板等の適切な維持管理を推進し、安全性の高い住環境を確保することにより、良好な「まちの雰囲気」の維持管理に努める。 ・市民団体等との協働事業により、駅前広場、地域案内板等の適切な維持管理の推進・さらなる駅周辺環境の向上に努め、安全性の高い住環境を確保することにより、良好な「まちの雰囲気」の維持管理・向上に努める。

都市再生整備計画事業 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他()		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

(金額の単位は百万円)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域生活基盤施設	本塩釜駅自転車駐輪場 本塩釜駅	25.00	A=600㎡	23.55	A=600m2	事業費の精査による減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	本塩釜駅前広場 本塩釜駅神社参道	—	—	106.25	A=3080m2	本塩釜駅周辺の回遊性向上を図るために新たに追加	影響なし	●	
地域生活基盤施設	地域案内板 市道 北浜沢乙線、県道 塩釜吉岡線	4.70	4基	4.59	3基	事業内容の精査による数量変更及び減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	地域案内板 県道 泉塩釜線	7.60	5基	1.66	3基	事業内容の精査による数量変更及び減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	地域案内板 東塩釜駅前広場	7.10	4基	4.90	4基	事業費の精査による減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	地域案内板 その他路線等	16.90	10基	3.25	10基	事業費の精査による減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	地域案内板 その他路線等	—	—	2.36	2基	事業内容の精査による設置箇所の変更	影響なし	●	
地域生活基盤施設	西塩釜交通広場 市道 西塩釜駅東口線	22.10	A=430㎡	24.11	A=530m2	事業内容の精査による数量変更及び増額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	東塩釜駅東口駅前広場 東塩釜駅東口駅前広場	36.80	A=2000㎡	22.34	A=2000m2	事業費の精査による減額	影響なし	●	
高質空間形成施設	市道 海岸通一号線	4.80	W=12m,L=60m	6.59	W=12m,L=60m	事業費の精査による増額	影響なし	●	
高質空間形成施設	本塩釜駅周辺歩道環境整備 市道 北浜沢乙線、県道 塩釜吉岡線	15.30	A=521㎡	13.98	A=521m2	事業費の精査による減額	影響なし	●	
高質空間形成施設	塩釜駅周辺歩道環境整備 市道 玉川岩切線、県道 泉塩釜線他	13.90	W=2.5~3.5m,L=250m	11.48	W=2.5~3.5m,L=250m	事業費の精査による減額	影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(金額の単位は百万円)

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	海辺の賑わい地区野外施設整備	36.00	海辺の賑わい地区における野外施設整備	45.04	海辺の賑わい地区における野外施設整備	事業費の精査による増額	影響なし	●	
	歴史・自然観光案内板整備事業	15.00	歴史・自然観光案内板8基の整備	4.84	歴史・自然観光案内板8基の整備	事業費の精査による減額	影響なし	●	
事業活用調査	事業効果分析調査	3.80	事業効果分析調査	6.00	事業効果分析調査				●
まちづくり活動推進事業	都市景観形成活動支援事業 中心市街地内	2.00	塩釜商工会議所による中心市街地内の景観形成活動支援	1.00	塩釜商工会議所による中心市街地内の景観形成活動支援	事業費の精査による減額	影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(金額の単位は百万円)

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
国道45号電線共同溝整備事業		国道45号	未定	未定	未定	未定	未定	
社会資本整備総合交付金事業		塩釜港区	3,433	3,433	未定	未定	令和2年度完了予定	水門
災害復旧事業		塩釜港区	9,289	9,289	未定	未定	令和元年度完了予定	防潮堤
築港大通線整備事業		築港大通線	600	600	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度	平成29年度完了	
八幡築港線整備事業		八幡築港線	10,400	10,400	平成23年度～平成27年度以降	平成23年度～平成27年度以降	令和2年度完了予定	
北浜緑地護岸整備事業		北浜地区	150	150	未定	未定	令和2年度完了予定	
公共下水道事業(復興交付金事業)		港町二丁目地区他	未定	未定	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度	令和2年度完了予定	
北浜地区被災市街地復興土地区画整理事業			1,530	1,530	平成25年度～平成27年度	平成25年度～平成27年度	令和2年度完了予定	換地処分まで
藤倉二丁目地区被災市街地復興土地区画整理事業			1,070	1,070	平成25年度～平成27年度	平成25年度～平成27年度	平成29年度完了	換地処分まで
海岸通1番2番地区市街地再開発事業			976	976	平成26年度～平成27年度	平成26年度～平成27年度	令和2年度完了予定	
港町地区津波復興拠点整備事業			1,646	1,646	平成25年度～平成27年度	平成25年度～平成27年度	平成27年度完了	
錦町地区災害公営住宅整備事業			1,183	1,183	平成25年度～	平成25年度～	平成26年度完了	
錦町東地区災害公営住宅整備事業			1,586	1,586	平成25年度～平成27年度	平成25年度～平成27年度	平成28年度完了	
北浜地区災害公営住宅整備事業			1,583	1,583	平成25年度～	平成25年度～	平成28年度完了	
「しおナビ100円バス」「NEWしおナビ100円バス」の運行		市全域	未定	未定	継続中	継続中	継続中	
イベント事業		収穫祭	未定	未定	継続中	継続中	継続中	
〃		塩竈みなと祭	未定	未定	継続中	継続中	継続中	
〃		塩竈の観光物産展	未定	未定	継続中	継続中	継続中	
〃		門前市	未定	未定	継続中	継続中	継続中	
〃		市民祭	未定	未定	継続中	継続中	継続中	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		基準年度						あり	なし		
指標1	歩行者交通量	人/12h	計測時点で本塩釜駅前広場を除く駅前広場や地域案内板等は整備されており、一定の効果が見込めるため、従前と同様の歩行者交通量調査を実施した。 令和元年10月26日(土)に、御釜神社前、すずらん前、マリンゲート塩釜前、マリンロードしおかぜの計4地点における12時間歩行者交通量調査を実施、各地点の合計値を評価値とした。	-	-	10,326	H26	11,500	H31	モニタリング	H29	13,807	モニタリング	○		
										事後評価	確定 ● 見込み	15,381	事後評価	○		
指標2	駅周辺の満足度	%	令和2年度に全ての駅周辺整備が完了し、整備完了後に、従前と同様のアンケート調査(市民を対象とした郵送によるアンケート調査)を実施し、市民の駅周辺の満足度を把握した。 令和3年1月～2月に、市民を対象とした従前と同様の設問「駅周辺の歩行環境の整備について」を設けた調査を郵送により実施し、塩竈市民計318名から回答を得た(回収率31.8%)。「駅周辺の歩行環境の整備について」の設問に対し、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計値を評価値とした。	-	-	74.7	H26	79.0	H31	モニタリング	H29	75.5	モニタリング	×		●
										事後評価	確定 ● 見込み	77.7	事後評価	△		
指標3	景観整備に対する満足度	%	令和元年10月26日(土)に、従前と同様の方式(本塩釜駅、鹽竈神社、マリンゲート塩釜の3箇所、通行者に直接ヒアリングする方式)により、従前と同様の設問「まちの雰囲気(街並みや道路等の景観等)」を設けた調査を実施、市外来訪者計323名から回答を得た。「まちの雰囲気(街並みや道路等の景観等)」の設問に対し、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計値を評価値とした。	-	-	52.0	H26	70.0	H31	モニタリング	H29	95.3	モニタリング	○		
										事後評価	確定 ● 見込み	74.9	事後評価	○		
指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)								その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)							
指標1	・駅周辺の整備により、駅周辺地区の回遊性が向上し、また、歩行者にとって安全・安心に通行できる歩道等が確保されたことから、歩行者交通量が大幅に増加し、目標値を達成したため、「○」とした。								-							
指標2	・地域交流拠点となる各駅の駅周辺の安全で快適な歩行環境整備等を行ったことにより、駅周辺の満足度が向上した。満足度は、従前値(74.2)→モニタリング(75.5)→今回(77.7)と確実に改善しているものの、駅周辺の駐停車スペースに対する不満、見栄えがしない・活気がないなどの意見があり、わずかに目標達成に至らなかったことから、「△」とした。								-							
指標3	・従前と同様の方式により、市外観光来訪者を対象にヒアリングを実施した。駅周辺や主要観光地点の地域基盤施設整備、高質空間形成、観光案内版の整備等により、良好な景観が形成され、まちの雰囲気が向上し、目標値を達成したため、「○」とした。								-							

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。
 ※2 目標達成度の記入方法
 ○: 評価値が目標値を上回った場合
 △: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
 ×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度		基準 年度				
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

本計画に位置づけられた、ハードを中心とした各種整備と合わせて、歴史的建造物(勝画楼・旧菟びや旅館)の保存活用、集客施設(杉村淳美術館・旧菟びや旅館)の開設など、本市の独自性を高める各種取組が進められており、これらの取組により中心部における塩竈らしい空間の魅力向上につながったものと考えられる。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
庁内検討組織を今後も継続的に開催し、事業成果について評価や事業の進め方の改善等を行うためのモニタリング(事後評価調査(提案事業/市))を実施する。	予定どおり実施した	● 都市再生整備計画の計画管理として、事業成果についての評価や事業の進め方の改善等を確認するための中間モニタリングを実施した。(平成29年10月)	今後も庁内検討組織において継続して効果を確認する。なお、フォローアップ調査を令和2年度に実施する予定である。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
都市再生整備計画書や計画概要等を市のホームページで公開し、市民からメール等で意見の徴集を行うこととする。	予定どおり実施した	● モニタリングの中で市民意見を聴取し、その後の計画事業に反映した。	本事後評価シート等を市のホームページで公開し、市民からメール等で意見の徴集を行うこととする。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
継続したまちづくり交付金事業の活用も含め検討を行うものとする。なお、その検討にあたっては引き続き庁内検討組織および市民団体との懇談会を存続させ、官民協働のまちづくりを目指すものとする。	予定どおり実施した	● 市民団体の代表者によりまちづくり懇談会を組織して、本地区を含めた本市全体のまちづくりについて検討した。	まちづくり懇談会 (平成27年度:2回、平成28年度:2回)	今後も庁内検討組織および市民団体との懇談会を存続させ、市民協働のまちづくりを目指すものとする。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画策定等ワーキンググループ会議	都市計画課、政策課、財政課、市民安全課、子育て支援課、長寿社会課、水産振興課、商工港湾課、観光交流課、定住促進課、土木課、生涯学習課、復興推進課	令和2年2月5日(水)	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1	指標3				
指標名		歩行者交通量	景観整備に対する満足度				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	地域生活基盤施設(本塩釜駅自転車駐輪場 本塩釜駅)	○	駅周辺の整備により、駅周辺地区の回遊性が向上し、また、歩行者にとって安全・安心に通行できる歩道等が確保されたことから、歩行者交通量が大幅に増加した。	○	従前と同様の方式により、市外観光来訪者を対象にヒアリングを実施した。駅周辺や主要観光地点の地域基盤施設整備、高質空間形成、観光案内版の整備等により、良好な景観が形成され、まちの雰囲気向上した。		
	地域生活基盤施設(本塩釜駅前広場 本塩釜駅神社参道口)	-		-			
	地域生活基盤施設(地域案内板 市道 北浜沢乙線・県道 塩釜吉岡線)	○	なお、調査時点で整備が完了していない事業があったが、当該指標の全体に与える影響は少ないと考えられるため、確定値とする。	○	なお、調査時点で整備が完了していない事業があったが、当該指標の全体に与える影響は少ないと考えられるため、確定値とする。		
	地域生活基盤施設(地域案内板 県道 泉塩釜線)	○		○			
	地域生活基盤施設(地域案内板 東塩釜駅前広場)	○		○			
	地域生活基盤施設(地域案内板 その他路線等)	○		○			
	地域生活基盤施設(西塩釜交通広場 市道 西塩釜駅東口線)	○		○			
	地域生活基盤施設(東塩釜駅東口駅前広場 東塩釜駅東口駅前広場)	○		○			
	高質空間形成施設(市道 海岸通一号线)	○		○			
	高質空間形成施設(本塩釜駅周辺歩道環境整備 市道 北浜沢乙線・県道 塩釜吉岡線)	○		○			
高質空間形成施設(塩釜駅周辺歩道環境整備 市道 玉川岩切線・県道 泉塩釜線他)	○		○				
提案事業	地域創造支援事業(海辺の賑わい地区野外施設整備 海辺の賑わい地区)	○		○			
	地域創造支援事業(歴史・自然観光案内板整備事業 歴史・自然観光案内板)	○		○			
	事業活用調査(事業効果分析調査)	-		-			
	まちづくり活動推進事業(都市景観形成活動支援事業 中心市街地内)	○		○			
関連事業	国道45号電線共同溝整備事業(国道45号)	-		-			
	社会資本整備総合交付金事業(塩釜港区)	-		-			
	災害復旧事業(塩釜港区)	-		-			
	築港大通線整備事業(築港大通線)	-		-			
	八幡築港線整備事業(八幡築港線)	-		-			
	北浜緑地護岸整備事業(北浜地区)	-		-			
	公共下水道事業(復興交付金事業)(港町二丁目地区他)	-		-			
	北浜地区被災市街地復興土地区画整理事業	-		-			
	藤倉二丁目地区被災市街地復興土地区画整理事業	○		○			
	海岸通1番2番地区市街地再開発事業	○		○			
	港町地区津波復興拠点整備事業	○		○			
	錦町地区災害公営住宅整備事業	○		○			
	錦町東地区災害公営住宅整備事業	○		○			
	北浜地区災害公営住宅整備事業	○		○			
	「おナビ100円バス」「NEW!おナビ100円バス」の運行(市全域)	○		○			
	イベント事業(取種祭)	○		○			
	イベント事業(塩釜みなと祭)	○		○			
	イベント事業(塩釜の観光物産展)	○		○			
	イベント事業(門前市)	○		○			
	イベント事業(市民祭)	○		○			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	歩行者交通量	景観整備に対する満足度
駅前広場を含む駅周辺道路の適切な維持管理を推進し、円滑な交通処理や歩行者空間の維持に努め、良好な歩行環境の維持に努める。	駅前広場、歴史・自然観光案内板等の適切な維持管理を推進し、良好な景観の維持に努める。また、周辺施設整備の際には、「塩釜市景観計画」に基づく適切な誘導により、さらなる良好な景観づくりに取り組む。	

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画策定等ワーキンググループ会議	都市計画課、政策課、財政課、市民安全課、子育て支援課、長寿社会課、水産振興課、商工港湾課、観光交流課、定住促進課、土木課、生涯学習課、復興推進課	令和2年2月5日(水)	都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
【拠点機能の強化】第一期及び第二期計画で位置づけ整備が進められた、3ゾーンの中心軸である『地域中心核』、塩釜駅周辺の『地域交流拠点』に加えて、東塩釜駅・西塩釜駅を『地域交流拠点』と位置づけ、拠点機能の拡大強化による賑わいの回復や活力の創出を行い、観光の活性化や交流人口の増加を推進する必要がある。	本塩釜駅自転車駐輪場、本塩釜駅前広場(本塩釜駅神社参道口)、西塩釜交通広場、東塩釜駅東口駅前広場、市道海岸通一号線、本塩釜駅周辺歩道環境の整備、塩釜駅周辺歩道環境の整備により、地域交流拠点となっている駅周辺の歩行環境等が改善し、地域交流拠点機能の拡大強化が図られた。	令和2年度に実施した駅周辺の満足度等を確認するためのアンケート調査において、駅周辺の駐停車スペースの不足、見栄えがしない・活気がないなどの意見が見られた。	
【回遊性やネットワークの強化】『地域中心核』『地域交流拠点』や鹽竈神社に代表される(歴史)観光資源等を有機的に結び、歩道環境の高質化や歴史・自然観光案内、誘導サインの整備等を行うことにより、回遊性やネットワークを強化し、中心市街地の活性化や交流人口の増加に繋げる必要がある。	本塩釜駅自転車駐輪場、市道北浜沢乙線・県道塩釜吉岡線・県道泉塩釜線・東塩釜駅前広場・その他路線等の地域案内板、西塩釜交通広場、東塩釜駅東口駅前広場、市道海岸通一号線、本塩釜駅周辺歩道環境整備、塩釜駅周辺歩道環境整備、海辺の賑わい地区野外施設整備、歴史・自然観光案内板整備により、質の高い歩道環境確保やわかりやすい案内機能の充実が図られ、地域交流拠点や(歴史)観光資源等の間の回遊性やネットワークが強化された。		
【快適な住環境の整備】本市は、震災による著しい人口の減少は見られないが、震災前から人口減少・少子高齢化は継続しているため、交通利便性やバリアフリー対策のほか、防犯・防災性を高め、安全・安心な住環境を整備する必要がある。	本塩釜駅自転車駐輪場、市道北浜沢乙線・県道塩釜吉岡線・県道泉塩釜線・東塩釜駅前広場・その他路線等の地域案内板、西塩釜交通広場、東塩釜駅東口駅前広場、市道海岸通一号線、本塩釜駅周辺歩道環境整備、塩釜駅周辺歩道環境整備により、利便性の高い歩道や案内機能充実による安全性の向上が図られ、快適な住環境確保につながった。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	【拠点機能の強化】	駅前広場を含む駅周辺道路の適切な維持管理を推進し、円滑な交通処理や歩行者空間の維持に努め、良好な歩行環境の維持に努める。	
	【回遊性やネットワークの強化】	駅前広場、歴史・自然観光案内板等の適切な維持管理を推進し、良好な景観の維持に努める。また、周辺施設整備の際には、「塩竈市景観計画」に基づく適切な誘導により、さらなる良好な景観づくりに取り組む。	
	【快適な住環境の整備】	駅前広場、地域案内板等の適切な維持管理を推進し、安全性の高い住環境を確保することにより、良好な「まちの雰囲気」の維持管理に努める。	

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	【拠点機能の強化】	駅前広場等の都市基盤は整備されたことから、駅周辺の満足度向上に向けては、駅周辺へのテナント誘致や仙石線整備促進の要望等により、駅周辺のにぎわい創出や駅の利便性向上に取り組む。	

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	歩行者交通量	人/12h	10,326	H26	11,500	H31	確定 ●	15,381	○	あり	なし			
							見込み			なし				
指標2	駅周辺の満足度	%	74.7	H26	79.0	H31	確定 ●	77.7	△	あり	なし ●	なし		
							見込み			なし				
指標3	景観整備に対する満足度	%	52.0	H26	70.0	H31	確定 ●	74.9	○	あり	なし	なし		
							見込み			なし				
指標4							確定			あり	なし			
							見込み							
指標5							確定			あり	なし			
							見込み							
その他の数値指標1							確定							
							見込み							
その他の数値指標2							確定							
							見込み							
その他の数値指標3							確定							
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・事前評価時の記録(前期計画の事後評価資料)が残っており、指標の内容や調査方法が明確であったため、事後評価のヒアリング調査等の作業が円滑に実施できた。	・事前評価時の資料を保管しておくことが重要である。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・数値目標の算出方法が明確であり、整備の効果が評価値に現れたため、指標として有効であったと考えられる。	・指標や評価時期を決定する際には、目標・事業内容との整合性を考慮して検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・まちづくり懇談会を組織して、本事業を含めた本市全体のまちづくりについて検討することができ、事業に対して市民のニーズの把握・反映がなされた。	・住民参加は、まちづくり事業を円滑に推進する上で有効である。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・モニタリングを実施したことで、事業の進捗把握、整備効果の確認、数値指標への影響等を把握することができた。	・都市再整備計画の事業や指標の達成状況を把握するため、モニタリングの実施は有効である。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後、次期都市再生整備計画を予定する地区
 本計画に基づく事業および各種復興事業により、歩行者交通量の増加、市外来訪者からの高評価など一定の成果を得た。今後は、都市活力の創出に向けて、交流人口増加に資する新たな取組等を進めていくため、本計画に引き続き、当該地区を基本として令和4年～令和8年までの5年間の計画で都市再生整備計画の策定を予定している。当該事業の経験を踏まえて事業を実施していきたい。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和3年3月26日～	令和3年3月26日～4月9日	担当課への持参(平日のみ)、郵送、FAX、電子メール、HP問合せフォーム	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--